

1. デンマークにおける出張の概要

デンマークでは、日本における洋上風力発電のための基地港湾のあり方を検討するため、エスビアウ市との間で、エスビアウ港港湾管理者としての洋上風力発電の基地港湾に関する取組みについて意見交換を行いました。また、主要風車メーカーとの間で、欧州における洋上風力発電の動向やエスビアウ港の利用について意見交換を行いました。

(1) エスビアウ市 イェスパー・フォスト・ラスムスン市長との会談

日時:平成 30 年 9 月 4 日(火)

場所:エスビアウ港 港湾管理者庁舎会議室

概要:エスビアウ港の港湾管理者副議長でもあるイェスパー・フォスト・ラスムスン市長との会談を行い、欧州最大級の洋上風力発電の基地となる港湾であるエスビアウ港におけるこれまでの取組みや今後の港湾計画等について意見交換を行いました。



会談の様子
(左 2 人目:秋本政務官/右 2 人目:ラスムスン市長)

(2) 風車メーカー MHI ヴェスタス社 山田正人副社長との会談、現地視察

日時:平成 30 年 9 月 4 日(火)

場所:エスビアウ港 MHI ヴェスタス社会議室他

概要:本邦企業が出資する主要風車メーカーである MHI ヴェスタス社と、欧州における洋上風力発電の動向や風車メーカーとしての取組みについて意見交換するとともに、エスビアウ港の利用について意見交換と現地視察を行いました。



現地視察の様子(左端:秋本政務官)



現地視察の様子(左端:秋本政務官)

2. ドイツにおける出張の概要

ドイツでは、ドイツ政府と、自動運転の実用化に向けた両国の最新の取組みについて意見交換を行いました。日本からは、自動運転車の安全技術ガイドライン案(※)を紹介するとともに、日独両国が、引き続き協力して新たな自動運転技術に係る国際基準作りに取り組んでいくことを確認しました。

(※)9月12日にプレスリリースされました

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosya_news.html

(1) ドイツ連邦政府 ギドー・ベアマン独連邦交通デジタルインフラ省事務次官等と会談

日時:平成30年9月5日(水)

場所:ドイツ・ベルリン・連邦政府庁舎会議室

概要:

- 日本から、自動運転に関する最新の国土交通省の取組みとして、自動運転車の安全技術ガイドライン案を紹介し、先方から高い関心が示されました。
- ドイツから、国連自動車基準調和フォーラム(WP29)において、自動運転の分野における議論を、日独両国が連携して主導してきたことに感謝の意が表されるとともに、引き続き、様々な課題について両国が協力しながら、国際基準等の検討を進めていくことが確認されました。
- その他、ドイツから水素燃料電池自動車の普及に関する日本の取組みについて質問があり、水素燃料電池自動車に対する導入支援制度等に関して意見交換を行いました。



ギドー・ベアマン独連邦交通デジタル

インフラ省事務次官との会談

(左:ベアマン事務次官/右:秋本政務官)



会談の様子

(右:ドイツ政府側/左:日本政府側)

※出典:BMVI

(2) ユーレフ・キャンパスにおける自動運転や水素・燃料電池機構等の視察

日時:平成 30 年 9 月 5 日(水)

場所:ドイツ・ベルリン

概要:ユーレフ・キャンパスにおいてオンデマンドの自動運転バスに試乗したほか、水素・燃料電池委
機構(NOW)において燃料電池自動車の試乗や水素ステーションの視察等を実施しました。



自動運転バスの試乗



燃料電池自動車の試乗

※出典: NOW GmbH/Franz Brück